

第39回

主 催：国文学研究資料館

後 援：総合研究大学院大学

国際日本文学研究集会

平成27年11月14日(土)・15(日)

参加無料

当日受付

1日目 平成27年11月14日(土)プログラム

◇受付開始	総合司会	イトウ 伊藤	テツヤ 鉄也(国文学研究資料館教授)	12:00～
◇開会挨拶		イマニシ 今西	ユウイチロウ 祐一郎(国文学研究資料館長)	13:00～13:10

【第1セッション】

[司 会] サカモト ノブユキ
坂本 信道(京都女子大学教授)

研究発表

- [1] 上代日本における文字表記—『万葉集』の「青」と「あを」を中心に—
マツバラ マイ
松原 舞(東京大学大学院博士課程) 13:10～13:40
- [2] 古事記における世界の生成とシャーマニズム —「根堅州国」と「綿津見神宮」をめぐる—
アンドソヴァ マラル
ANDASSOVA Maral(佛教大学総合研究所特別研究員) 13:40～14:10
- [3] 源氏物語の「女にて見る」をどう訳すか—翻訳のなかのジェンダーバイアス—
スドウ ケイ
須藤 圭(立命館大学助教) 14:10～14:40
- 休憩(15分) 14:40～14:55

【ショートセッション】

[司 会] ウンノ ケイスケ
海野 圭介(国文学研究資料館准教授)

- ① 『とはずがたり』巻二に描かれた「色好み女房」としての自画像とその意義
キウ シュンセン
邱 春泉(北京外国語大学博士課程、国文学研究資料館外来研究員) 14:55～15:10
- ② 村上春樹『海辺のカフカ』にみる魔術的世界観の土壌
ダル ミ カタリン
DALMI Katalin(広島大学大学院博士課程) 15:10～15:25
- ③ 村上春樹による聖地アトスへの巡礼
オウ セイ
王 静(名古屋大学大学院博士課程) 15:25～15:40
- 休憩(30分) 15:40～16:10

【第2セッション】

[司 会] コヤマ ジュンコ
小山 順子(国文学研究資料館准教授)

研究発表

- [4] 『草庵集』の構成と特性
イ サンミン
李 相受(東京大学大学院博士課程満期退学) 16:10～16:40
- [5] 欧米における「忠臣蔵」のイメージ形成—大石内蔵助の人物描写について—
カワウチ ユウコ
川内 有子(立命館大学大学院博士課程) 16:40～17:10
- ◇事務連絡・会場移動 17:10～
- ◇レセプション 17:30～18:30



2日目 平成27年11月15日(日)プログラム

◇受付開始 9:30～

総合同会 アオキ 青田 スミ 寿美(国文学研究資料館准教授)

【第3セッション】

[司会] ノアミ 野網 マリコ 摩利子(国文学研究資料館助教)

研究発表

- [6] 「父親の不在」を文学は告げている?『なづな』におけるイクメン
グアリーニ レティツィア GUARINI Letizia(お茶の水女子大学大学院博士課程) 10:00～10:30
- [7] 中里介山「大菩薩峠」の文体 ——改稿による地の文の変化を手がかりに
チェヘス 崔 惠秀(早稲田大学大学院博士課程) 10:30～11:00
- [8] 武田泰淳の文学における父親のイメージ
ハートリー バーバラ HARTLEY Barbara(タスマニア大学アジア言語研究学科長) 11:00～11:30
- [9] 語られない韓国—高浜虚子の小説『朝鮮』
ユンキョン 劉 銀炅(中央大学大学院留学生) 11:30～12:00
- 休憩(120分) 昼食・ポスターセッション 12:00～14:00

【シンポジウム】

[司会] 深沢 真二(和光大学教授)

- 「日本文学の越境 —非・日本語でHaikuを読む／詠む—」 14:00～17:00
- パネラー キムラ トシオ 木村 聡雄(日本大学教授) フェスラー マイケル FESSLER Michael(日本エズラ・パウンド協会役員)
- ガーガリー GURGA Lee(アメリカ俳句協会元会長) トッパタ シゲナオ 鳥羽田 重直(和洋女子大学教授)

◇総括 17:00～17:10

【ポスターセッション】

11月14日(土)～11月15日(日) (発表者による説明あり)

- 『徒然草』の地名新考
コウ イク 黄 昱(総合研究大学院大学博士課程)
- 漱石の『琴のそら音』
——空想の思いを馳せた不安——
ゴ セツコ 呉 雪虹(高雄市立空中大学外国語学系主任)
- 戦略としての手記
——太宰治『人間失格』における額縁構造と「道化」——
タムラ ミユキ 田村 美由紀(総合研究大学院大学博士課程)
- 川端康成『抒情歌』再考
——近代における「口承文芸」の可能性と限界——
オオクボ ミカ 大久保 美花(明治大学大学院博士課程)
- 『うつほ物語』の計量分析:
「楼の上上」及び「楼の上下」における
形容詞・形容動詞の量的特徴について
ツチヤマ ゲン 土山 玄(同志社大学研究開発推進機構特別任用助教)
- 新作薫物)と平安文学
——王朝の言葉とところを具現化した香りたち——
タナカ ケイコ 田中 圭子(広島女学院大学総合研究所 客員研究員)



【交通のご案内】

- 多摩都市モノレール利用の場合
JR 立川駅下車、多摩モノレール立川北駅に乗り換え、高松駅下車、徒歩 10 分
- 立川バスの場合
JR 立川駅北口②番のりば乗車、「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩 1 分
JR 立川駅北口②番のりば乗車、「裁判所前」バス停下車、徒歩 5 分
JR 立川駅北口①番のりば乗車、「立川市役所」バス停下車、徒歩 3 分
- 徒歩の場合
JR 立川駅下車、徒歩約 25 分
- 自動車利用の場合
中央自動車道「国立府中 IC」から約 15 分 ※駐車場有